

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 湯の谷西区

日 時 平成 20 年 5 月 22 日(木) 19:02 ~ 21:05

場 所 湯の谷西公民館

出席者 (市 民) 31 人

(執行部) 16 人

井上市長、平島副市長、關教育長、石橋総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、関岡市民生活部長、
松永健康福祉部長、木村建設経済部長、古川上下水
道部長併会計管理者、松田教育部長、白石議会事務
局長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、
大藪協働のまち推進課長、諫山地域コミュニティ推進
係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ (経営企画課長) 19:02 ~
- 2 区長あいさつ (区長) 19:04 ~
- 3 市長あいさつ (市長) 19:06 ~
- 4 市職員自己紹介 (経営企画課長) 19:17 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:19 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換 (経営企画課長) 19:36 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ (副市長) 21:04 ~ 21:05

	質問・意見等	市長回答
意見 1	<p>妊婦検診が4月の時点では3回であったが、6月議会に5回に増やすとのことだが、実施は何時からか。</p>	<p>(市長) 6月議会で可決後、速やかに実施します。7月以降になると思います。</p>
意見 2	<p>実質公債費比率が福岡県内でも悪い状況にあり、嘉麻市、直方市、大牟田市について太宰府市である。これについてタイムリーな取組みが必要であるが、太宰府市は太宰府天満宮や8つの大学を含めて非課税法人を抱えており、法人の誘致も難しい地区にある。市長の公約で経常収支比率を100.9%を今年98%にするとある。団塊の世代の退職による人件費減は考えられるが、その具体的な手法は。</p> <p>自治体会計制度が改定されるが、太宰府市は基本モデルを採用するのか改定モデルを採用するのか。この辺は重要な鍵になる。協働のまちづくりの中でも市民が望めば積極的に情報を開示していき、市民の意見、アドバイスを取り込んでいくような勇気ある行政が必要になってくる。</p>	<p>(市長) 経常収支比率は、市の弾力性を示す指標です。経常的収入が分母となり110億ほどで、経常的支出が分子となります。これはどこの市町村も同じですが、収入については、交付税の圧縮などにより減ってきています。一方、経常的支出には、扶助費、人件費、公債費などがあり、扶助費は年々増加しています。</p> <p>経常収支比率を小さくするためには、分母を大きくするか若しくは分子を小さくするかとなります。太宰府市については、扶助費を落とすことなどは出来ないもので、どこで調整するかというと公債費で調整することになります、借入を小さくして身の丈にあった行政運営を行っていく必要があると考えます。</p> <p>今までの経常収支比率が高いのは、それだけ社会資本を投下したということです。下水道・文化施設などの大きな社会資本投下については次世代の方にも負担していただくような考え方をしております。そういった考え方の中で借入を集中して行っていたということはひとつの要因としてあります。</p> <p>最近の事例に着目してみますと、平成15年の災害があり、一番の負担になっていますが、これはまちづくりに必要なことに使ったのだから当然だ</p>

		<p>と考えています。そういったことで現在の経常収支比率は高くなっていると考えます。今後は、佐野土地区画整理事業や地区道路整備事業の大型事業も終わり、起債額が減り、予算が180・190億ベースとなっておりますが、平成24年度で公債費がピークを迎え、約10億の余剰金を福祉、教育に回して行き、よりよい施策を行っていききたいと思います。</p> <p>史跡地を多く所有することや宗教団体、学校法人が非課税であるため、類似団体と比べて、8億円ほど減収になっておりますが、財政状況は好転します。収支バランスについて創意工夫し、開示を含めて検討して行きます。</p> <p>会計関係であります、今は地方自治法の基づいて行っておりますが、企業会計に推移して行きます。貸借対当表を用いたり、財産管理が一目で判るような会計については、市の方でも当然考えていかなければならないと思っております。現在は、単年度管理ですか、財産状況等は明らかにしております。これだけ世間に通じる収支バランスがわかるようにするのは自治体としても努力しなければならないと思っております。</p> <p>行政改革については、どの団体よりも早く総合行政に取組み、学校給食、保育所、浄水場などできるものからあらゆる分野で外部委託を行ってきました。大野城市、春日市に市政施行は10年遅れていましたが、今追いついたと思っております。市民の皆様には不便はおかけしてないと考えていま</p>
--	--	---

		<p>す。身の丈にあった行政運営を行い、運営していきたいと考えます。</p> <p>（経営企画課長）</p> <p>太宰府市ではまだ決定しておりませんが、総務省方式改定モデルを採用する予定です。連結決算を行う中で、一部事務組合を共同で設置している筑紫野市が総務省方式改定モデルを採用したため、総務省方式改定モデルにせざるを得ないと考えています。</p>
	<p>大野城市のホームページには決算監査意見がかなり詳細に掲載されている。それと比較してかなり差がついている見やすく、判りやすく、また積極的な情報提示を望む。</p>	
	<p>協働のまちの提案の中で市の弱いところを民の力が必要で、そこを民が補うのではないかと。私も16ページのレポートを書いたが、現実には中央にある行政諮問委員会のようなものであって、形だけ民間の人を入れている。市長が言う協働のまちづくりで町を良くして行こうということにならないのではないかと。昨年のもっと元気に頑張る応援団のメンバーの方などに話を聞いたら、今年は公募しても集まらないと言われた。市長が協働のまちづくりを提言しているだけに、企画の練りこみが足りないのではないかと。</p>	<p>（市長）</p> <p>協働のまちづくりについては、私が最初に提言している訳ではなく、全国的な傾向です。</p> <p>もっと元気に頑張る応援団については、平成19年度は時間が不足したような状況があります。</p> <p>私はどの部門においても、市民の意見を聴くパブリックコメントのプロセスを大事にし、施策に繋げていきたいと考えております。その辺については、職員も十分に理解しています。どうして応募がなかったのかは詳細には聞いておりませんが、その考え方に変わりはありません。広く意見を求め、現場主義を採っております。もっと元気に頑張る応援団だけがすべてではなく、色々な声を聴きながら、行政運営を行っていきたくと思います。現在、小学校区を単位とした地域コミュニティづくりを考えております。44</p>

		<p>行政区の基礎的なものは守りながら、もっと大きなくりをしていこうと思います。地域分権的な考え方で進めていきたいと考えているところです。そこで、行政委員会など代表を選んでいくつかの行政区を運営していく運営委員会を作っただき、色々な補助金を一度点検していただき、もっと違った中で再配分していくことを考えています。自ら執行していくことにより、自立機能が働くような方法に変えていこうということが私の考え方です。</p>
	<p>連歌屋のホテルグランティアについて傾斜があり、土砂災害危険地域である。尚且つ地質が風化花崗岩という脆いものである。昭和48年、平成15年に人が亡くなったところであり、現在も周辺は危険を感じる場所であり、水質の汚染・汚濁また道路の安全問題、土砂災害、下水の汚水処理の関係など直接生活住民に影響がある。市長あてに質問状も出しており、直接住民と話す機会を設けてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>結論から申し上げます。これらの問題については、各部長を通じて話し合いはさせております。宿泊施設については、多くの市民が望んでいます。今太宰府市は、一時間で帰る通過型の観光で、一つには施設が足りていません。自己簡潔なホテルは、最低限は必要と考えます。今ホテルの計画はいくつかありましたが、実現に至っていません。滞在期間を長くするためにも、既設のホテル認めるべきであるという立場に立っております。色んなことはあっても、国の基準の中で、建築確認はできています。このことについては、ホテルとしては必要とはっきり申し上げておきたいと思っております。それぞれの問題点については各担当で説明もしております。それ以外の点については、もっと大きな視点で太宰府市のまちづくりをみていただきたいと思います。</p>
意見3	昨年「元気になろう会」という会に参加	(市長)

	<p>して非常に良かった。高齢化社会の中で、要介護状態にならないよう続けてもらいたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。介護が必要になる前に一人一人の予防が大事と思っています。</p> <p>また、まちぐるみ歴史公園構想は、市民がそれぞれの体力に応じて外出して散歩し、市を再発見してもらいながら、また元気になってもらう、一石二鳥の総合行政を行い、市民の皆さんが元気になれば医療費の抑制に繋がります。地域の皆さんと行政が一緒になって取り組むことが一番と考えます。</p>
	<p>パソコンの時代であるが、費用対効果はどうなのか。便利になって職員が楽になったというのでは間違っている。能率がアップした分をどこに振り向けているのか一般市民に知らせてほしい。現地を知る意味でも、校区毎に一週間に1回とか市長以下職員が出前聞きに行くような精神で仕事してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>費用対効果についてですが、職員数は平成7年ぐらいから、400人が42人削減して358人となり、またここ数年採用もしていません。その方がいい悪いは別にして、合理化をしたのだから、人員の面に反映した、あるいはサービス向上に繋がったと考えております。</p> <p>今、現場主義をおっしゃいましたが、私も現場主義を唱えております。もう少し変わってきている姿みてほしいと思います。</p>
	<p>とにかく水道代が高い。福岡都市圏の中で一番高い。毎年の実績をもって示してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>水道代金が高いのはご承知のとおりです。(都市圏の中で)1番ではなく5番目に高い状況です。これには要因があり、一つには原水が無いことです。もう一つには団地が山を開いて造成されたもので、ポンプで一度上まで汲み上げてそれから配水するというコスト面で言えば非効率的な面がございます。以前は給水を制限していたことで、結果的に人口抑制となっていました。その制限も解除し、現在1</p>

		<p>日 13,000 立方メートル配水しております。23,000 立方メートルまで、人口に換算すると 9 万 5,6 千人に対して供給できます。水確保はできております。水道事業は、企業会計で行っておりますので、起債の借換を行うなど、営業努力をし、少し時間はかかるかもしれませんが、水道料金の引き下げを目標にしていきたいと思っています。</p> <p>市では企業会計の人員的な合理化を行い少人数で行っています。そのことが水道料の値下げという形で市民に還元したく、その時期になりましたら皆さんにお知らせしたいと思えます。ご理解をお願いします。</p>
	<p>福岡は警固断層がある。避難場所はここだけであるが、近くに大きな大学もあるので大学に避難できないか。市としてリーダーシップがとれないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>避難場所の問題ですが、この地域が崖に面して公民館が建っているということで、有事の際に非難場所を確保することため、公民館そのものの移転について、要望があると聞いています。</p> <p>市では平成 18 年からコミュニティ無線を 1 億かけて完成させました。有事の際は、無線で情報を瞬時に流すことで、市民の安全安心のまちづくりのため、安心の一助となればとの思いでこの取り組みを行ったところであります。</p>
<p>意見 4</p>	<p>石穴神社の後ろの道路について、側溝整備の要望を 40 年来繰り返し歴代区長が行っているがほったらかされている。もう少し誠意を持って対応して貰いたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>明日、現場を見ます。担当の方でも現場を見て、今出来るかどうかを検討させたいと思います。</p>
<p>意見 5</p>	<p>今度の決算から手法が変更する中で、先ほどの説明の中で基準方式を採用するのか、旧態依然とした改定方式を採用す</p>	<p>(市長)</p> <p>そのようにして行きたいと思えます。内部的には、複式簿記に置き換え</p>

	<p>るのかで市長と担当課長の説明が食い違っていた。今回那珂川町を除く筑紫地区のホームページを全部確認したが、筑紫野市の財政関係だけは確認ができなかった。先ほどの説明では、筑紫野市に併せての方式を採用することであったが、そういう確認もとれないような市に併せるのは如何なものか。太宰府市がリードしてもらいたい。恐らくみな基準方式を採用すると思われる。明治時代からずっと市町村会計は現金方式をとっており、借金があってもわからず、退職金引当金も掲載されていない。民間では退職金は債務としている。会計状況はわかりやすく、大野城市はお粗末だが、平成 12 年度には貸借対照表を作成している。太宰府市は、内容は馬鹿正直なぐらい掲載しているが、総括した締めくくりが悪い。もっと要領よく掲載してもらいたい。見る側のことをもっと考えてもらいたい。予算同士を比較しても何の意味もない。実績と予算を比較するべきである。監査報告についても大野城市は監査意見が掲載されているが、太宰府市は掲載されていない。監査意見が付けられて決算報告があるのは、民間では常識である。文化都市に相応しく、近隣都市に笑われないようにやっていただきたい。</p>	<p>てやっております。公表とか正式にはおこなっておりません。一つお話しておきたいのは、退職金引当金は、市は退職手当組合に加入しておりますので、それは別になっております。監査意見も</p> <p>大野城市、春日市と同じぐらい批判を含めた形での分析がされております。市民にとって判り易いような財政状況の開示に努力していきたいと思えます。謙虚に受け止めて、実践できるようにして参ります。</p>
意見 6	<p>子どもを持つ世帯だが、教育福祉に重点を置くとの説明であったが、もっと具体的なビジョンを知りたい。子どもを持つ世帯にとって太宰府市は住みにくい。保育所も残業があり迎えが間に合わなかったため預けることができなかった。これから先、さらに共稼ぎ世帯が増えると思うが、子育てをサポートすることが必</p>	<p>(市長)</p> <p>私は、教育の問題、福祉の問題に軸足を置いております。財政状況が好転することに合わせて行っていくため、現在の公債費 31 億が 19 億に抑えられ、余った分を教育、福祉その他のサービスに振り向けられる状況があります。</p>

	<p>要でないか。また中学校ランチサービス制度があるが、不便である。せめて義務教育期間中は完全給食が望まれる。知っている保護者で、完全給食に反対する人は一人もいない。</p>	<p>そのような状況になるまで待つわけではなく、身の丈にあった行政その中で福祉、教育の割合は、子育てがしやすい環境を整えるため、必要な財源を確保して行きたいと思います。</p> <p>例えば、保育所待機児童を無くす取り組みも一つです。待機児童を無くして行きたいと思います。また、子育て支援センターの充実強化もそうです。民間団体による谷間支援も行ってもらっています。病時保育、一時預かり保育も制度化しております。十分でないところは皆さんの声を聴きながら、具現化して行きたいと思います。</p> <p>太宰府市は、住みにくいところと言われないように、地域での子育てについてももっと充実するように支援して行きたいと思います。</p>
<p>意見 7</p>	<p>市役所からの窓口は全て区長になっている。以前C型肝炎の勉強会を各区で行ったが、区によって参加にばらつきがあった。もっと区長の勉強会の場を増やしてほしい。</p> <p>市職員の中で、「市民と一緒にがんばろう」という職員と「市民と対話は臨まない。事務のみ行う」という職員に分かれる。人事異動の際考慮し、市民の窓口は、「市民と一緒にがんばろう」という職員を配置して欲しい。</p> <p>会計報告について大野城市は、かなり詳しく載っている。ファミリーサポート事業も倍の予算がある。市民がかなり協力していることをもっとPRして、部長も市長と一緒に市民のためになることをしていってほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>暖かいご意見ありがとうございます。ご意見に恥じないように、職員一丸となってがんばります。全体の意見反映できるように今後がんばってまいります。</p>

意見 8	市長は、観光ホテルのことを言ったが、ホテルは至る所にある。観光だけ、第三次産業だけでなくものづくりの企業誘致が必要である。観光で飯は食えない。もっと収入が入る産業を誘致してほしい。	<p>(市長)</p> <p>「観光で飯は食えない」ということについては、同感です。太宰府のコンセプトは、「観光と歴史と文化」のまちです。太宰府市にどのような企業が合うのか考えて行きたいと思います。</p>
	御笠川周辺の開発を行っているが、水は不足するのではないかと。3つの浄水場合わせて4,100トンでは足りないのではないかと。	<p>(市長)</p> <p>御笠川の宅地化によって水が足らなくなるのではないかとという問題は、23,000立方メートルまで、9万人まで大丈夫という将来見通しを立てております。</p> <p>水の確保については、順調ですので、水道料が高いことをこれからは検討して行きたいと考えています。</p>
	周辺は駐車場ばかりで、温暖化につながって、環境が悪化している。どうにかならないか。	<p>(市長)</p> <p>駐車場が増えており、環境はそのとおりだと思います。これだけ観光客が来られておられますので。交通渋滞対策等々やっております。以前のようにはなく、少しは緩和にむかっていますが、それでもご指摘のとおりです。</p>
	職員もノーマイカーデーを設けるべき。	<p>職員のノーマイカーデーは毎週金曜日に実施しています。私自身もまほろば号で通勤しています。車を減らすための社会実験も実施しています。継続して環境にやさしいまちづくりを推進して行きたいと思います。</p>